

各国の原子力発電所の運転期間(初期運転期間と延長運転期間)の制度的枠組

2025 年 1 月

(一社) 日本原子力産業協会

	運転期間 タイプ	初期期間 の長さ	原子炉型	初期期間の長さ に関する注釈	長期運転 のための 延長期間	長期運転のための延長期間 に関する注釈
アルゼンチン	期間限定	10 年	PHWR	原子炉の当初の設計 寿命は約 30 年	10 年	追加の 25-30 年運転を許可するための 運転期間延長プログラムを策定
ベルギー	期間限定 せず	期間限定 せず	PWR	原子炉の当初の設計 寿命は 40 年	10 年	3 基がさらに 10 年間の運転を許可され た
カナダ	期間限定	10 年	PHWR	ケースバイケースで判 断:原子炉の当初の設 計寿命は約 30 年	10 年	改修プロセスによって原子炉の数十年間 (例えば 30 年)の運転延長が可能に
チェコ	期間限定 せず	期間限定 せず	PWR	原子炉の当初の予想 寿命は約 30 年	期間限定 せず	原子炉が安全義務を履行し続ける限り運 転期間制限なし。継続的安全評価、特別 安全評価、PSR など実施が条件
フィンランド	期間限定	30 年また は 40 年	PWR, BWR	通常原子炉の当初の 設計寿命に基づき、ケ ースバイケースで判断	ケースバイ ケース (実際には 20 年)	運転延長認可の更新回数に制限なし
フランス	期間限定 せず	期間限定 せず	PWR	特定設備の当初の設 計想定は 40 年	期間限定 せず	安全要件を履行する限り運転期間制限 なし、10 年毎の PSR 実施
ハンガリー	期間限定	30 年	PWR	原子炉の当初の設計 寿命に基づく	20 年	運転認可の更新は 1 回のみ許可
日本	期間限定	40 年	PWR, BWR	—	20 年	運転認可の更新は 1 回のみ許可。 但し、運転期間から運転停止期間を除 く。実質的に 60 年を超えて運転するこ とが可能
韓国	期間限定	30 年/40 年/60 年	PWR, PHWR	原子炉の当初の設計 寿命に基づく	10 年	運転延長認可の更新回数に制限なし
オランダ	期間限定 せず	期間限定 せず	PWR	原子炉の当初の設計 寿命は 40 年	ケースバイ ケース	安全報告書で規定された 40 年の技術的 設計寿命を超える運転は、運転認可の 修正も必要な安全報告書の更新が必要。 原子炉の技術的設計寿命は 20 年間 追加延長されるが、運転認可は依然とし て「期間限定せず」のままである
ルーマニア	期間限定	30 年	PHWR	原子炉の当初の設計 寿命等に基づく	ケースバイ ケース	運転延長認可の更新回数に制限なし
ロシア	期間限定	30 年	PWR, LWGR, FBR	原子炉の当初の設計 寿命等に応じてケース バイケースで判断	ケースバイ ケース	運転延長認可の更新回数に制限なし
スロバキア	期間限定 せず	期間限定 せず	PWR	—	期間限定 せず	安全要件を履行する限り運転期間制限 なし、10 年毎の PSR 実施
スロベニア	期間限定	40 年	PWR	原子炉の設計寿命に 基づく	10 年	運転延長は 2 回のみ許可(合計 20 年)
スペイン	期間限定	10 年	PWR, BWR	ケースバイケースで判 断:原子炉の当初の設 計寿命は約 40 年	10 年	ケースバイケースで判断
スウェーデン	期間限定 せず	期間限定 せず	PWR, BWR	原子炉の当初の設計 寿命は 40 年	期間限定 せず	安全要件を履行する限り運転期間制限 なし、10 年毎の PSR
スイス	期間限定 せず	期間限定 せず	PWR, BWR	—	期間限定 せず	安全義務を値攻する限り運転期間の制 限なし;運転 40 年後は長期運転のため の安全性実証と 10 年毎の PSR が必要
ウクライナ	期間限定	30 年	PWR	原子炉の当初の設計 寿命に基づく	10-20 年	運転期間延長の回数に制限なし
英国	期間限定 せず	期間限定 せず	AGR, PWR	—	期間限定 せず	10 年毎の PSR を含め安全義務を履行 する限り運転期間の制限なし
米国	期間限定	40 年	PWR, BWR	—	20 年	運転延長認可の更新回数に制限なし

出典: OECD/NEA 報告書“Legal Frameworks for Long-Term Operation of Nuclear Reactors”(2019 年)に、当協会が一部加筆。